

**2019年6月22日開催 POTTプログラムin東京  
ご報告とアンケート結果**

**特定医療法人研精会食支援プロジェクト  
芳村直美**

- 開催日時：2019年6月22日（土）9時～12時
- 開催場所：東京南看護専門学校（東京都稲城市若葉台3-8-2）
- 参加者：58名（摂食嚥下障害看護認定看護師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、介護福祉士、学生）
- 研修目的：
  - ①食事時の適切なポジショニング技術を学ぶ
  - ②POTTスキルトレーニングで合格できる
  - ③スタッフへPOTTの技術伝承ができる
  - ④患者（対象者）へ適切なポジショニングと食事介助ができる
  - ⑤ポジショニングを通じて相互成長できる
- 研修内容：
  - ①迫田先生の講義
  - ②POTT技術演習—相互学習
    - ・FTデモンストレーション
    - ・いつもの30度
    - ・POTT30度、POTT60度、車いすPOTTの体験
    - ・まとめ発表

# ●研修会開催までの準備

1. ファシリテーターのスキル・指導力アップを目指した  
自己練習&相互練習



スキルチェック  
20点満点5分以  
内を目指す、  
勤務終了後特訓

2. 前日全員集合の最終確認と打ち合わせ  
POTTプログラムFTマニュアルを作成



FTマニュアルを使用し  
ながら、指導ポイント  
や指導方法を確認し合  
い、FTたちのスキル  
アップも

# ●研修会当日の様子

## 1. 迫田綾子先生（POTT代表）による講義

みんな熱心に聴きながら、メモを取っていました。



## 2. 看護実習室でのPOTT技術演習



# ●研修会当日の様子

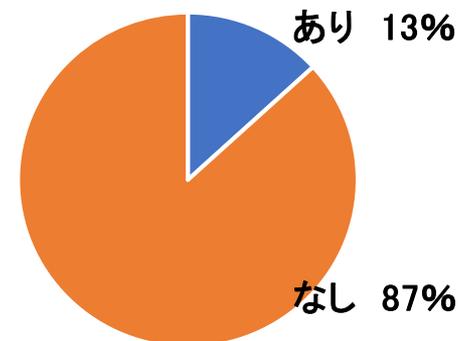
## 2. 看護実習室でのPOTT技術演習



# ●アンケート結果

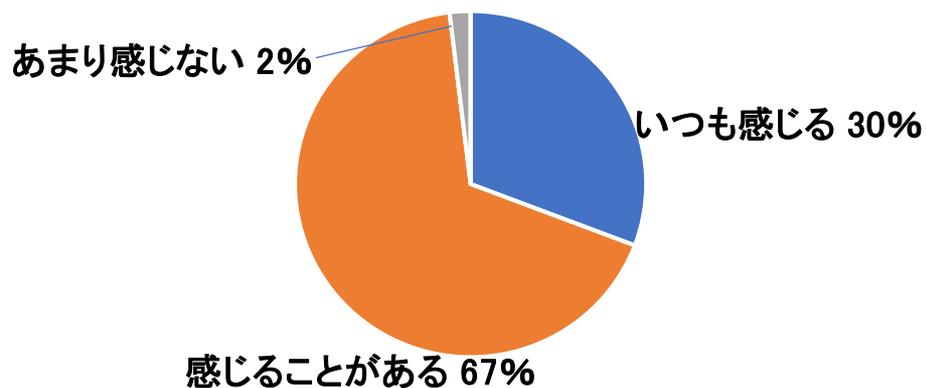
## 1. ポジショニング関連の研修会参加経験の有無

参加経験



## 2. 臨床でポジショニングや食事介助で困難を感じることはあるか

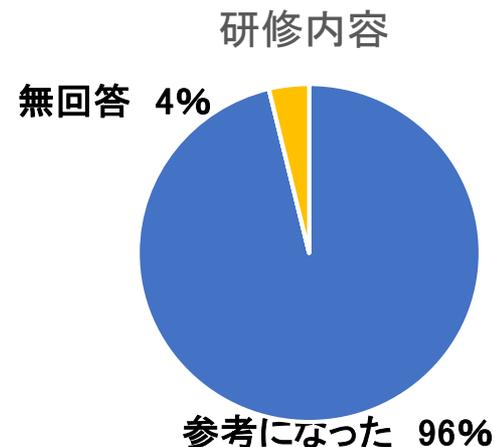
困難を感じることはあるか



# ●アンケート結果

## 3. 研修内容は参考になったか

- ・正しいポジショニングによって変化を実感できた
- ・ポジショニングの大切さを実感した
- ・食べる前の準備の大切さを学んだ
- ・背抜き必要性を学んだ
- ・患者体験は発見が多かった
- ・患者の気持ちになった
- ・自己流であったり、忘れていたことにも気づけた
- ・いままでのポジショニングの不足がわかった
- ・ポジショニングの根拠がわかった
- ・実践に活かせる技術が学べた



## 4. POTT研修の学び（自由記述） 一部抜粋

- ・実際にやってみて自分のできていないことに気づけた。
- ・かかとをつけると安定する（足底接地）
- ・患者の気持ちを学んだ
- ・仕事への意欲が増した
- ・スプーン操作を教えてほしい
- ・患者さんのつらさがわかった
- ・背抜き、足抜きマスターしたい
- ・基本ポジショニングを職場に広げたい
- ・今後につながる、ひろがる研修だった
- ・丁寧に接することの大切さを学んだ
- ・病棟全体で行えるようにしたい

# POTTの学びを広げ、明日からの援助につなげよう

2019年6月22日 POTTプログラムin東京にて、集合写真でぽっと（POTT）



次回開催は、2019年8月4日 POTTプログラムフォローアップ研修会を予定しています